



<備前北大窯跡拠点地区>

区分	名称	内容
遺構整備施設	窯跡外観復元施設	西大窯跡の北側窯跡の遺存する遺構面を盛土により保護した後、遺構直上において築造当時の窯跡の規模や形状等が理解できるよう窯の外観復元施設の整備を図る。
	窯跡平面的表示施設	遺構面を必要厚さの盛土等により保護した後、遺構直上に窯の内部構造（焚口、焼成室、煙道等）が理解できるよう備装材等を用い表現し、また平面的規模、形状の表示整備を図る。
	物原表示施設	物原の分布範囲等を適切な整備手法を用いて表示施設として整備を図る。
	案内板・説明板	既設の案内板・説明板の改修や整備された各窯跡についての説明板を適所に設置する。
学習施設	大型四阿	土器づくり等の体験学習に利用できる作業台や水道設備を有する休養施設としても利用できる大型四阿の整備を図る。便所も有する。 (面積 約100㎡)
	窯	イベント広場内に、実際に焼物を焼成できる窯を設ける。
園路・広場施設	入口広場	窯跡の前面の比較的平坦箇所を広場として整備する。
	学習広場	史跡指定地東側に隣接する用地に各種催しや野外での学習に利用できる広場を整備する。(面積 約800㎡)
	見学路	整備された窯跡等が見学できる園路の整備を図る。必要に応じて階段を設ける。
	ベンチ	入口広場の適所に設置する。
休養施設	車止め	適所に設置する。
安全管理施設	植栽	遮蔽植栽、景観木、緑陰樹等を適所に植栽する。
修景施設	駐車場	道路に接する用地に整備する。(面積 約650㎡)